



2012年3月期 決算説明会

2012年5月14日

石油資源開発株式会社

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注: 本資料において、1H、2H はそれぞれ上期、下期を、
(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話 03-6268-7111

説明会の内容

1. 事業概況

2. 2012年3月期 決算概要

3. 2013年3月期 業績予想

事業概況

代表取締役社長
渡辺 修

事業環境認識

資源開発競争の激化

- 産油・ガス国におけるナショナリズム高揚
- アジア・アフリカ諸国の人口増や経済成長に伴う世界的エネルギー消費の増大
- 国際／国営石油会社を中心に非在来型資源を含めた権益買収の活発化 等

エネルギー価格動向

- 2004年頃から原油価格の上昇傾向が顕著、2008年7月に最高値
- その後、急激に下落するも、再び上昇傾向が顕著（ボラティリティーの増大）
- 中東情勢緊迫や世界的な景気減速懸念等により、エネルギー価格動向は不透明に

国内天然ガス事業の競争激化

- 競合他社による積極的な天然ガスインフラ整備
 - －特に、東日本大震災後は天然ガスシフト／安定供給確保の観点から、パイプライン等の基盤整備を政策的に強化する方向
- 世界的な需要増の見通しに伴うLNG調達競争の激化

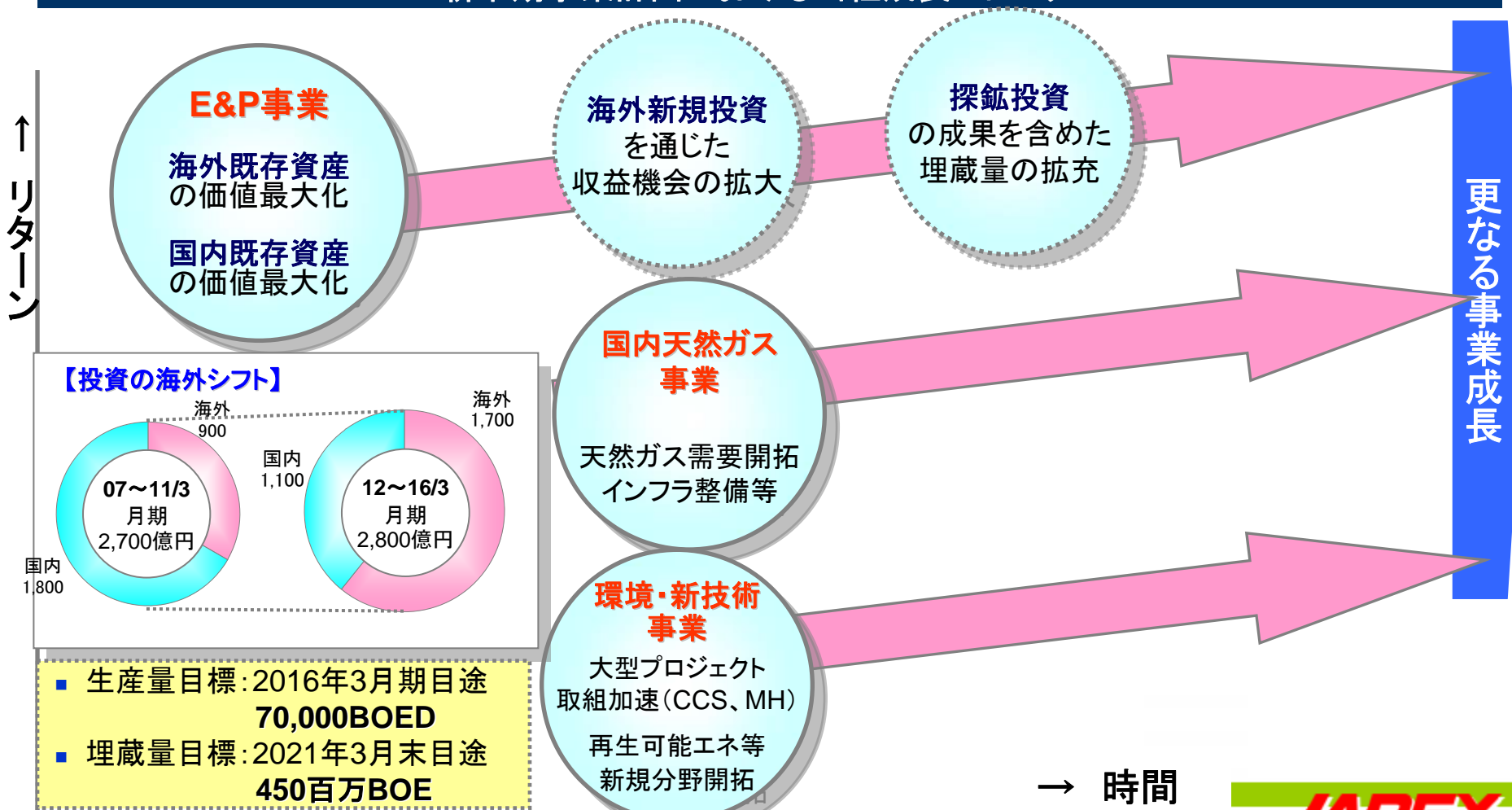
環境問題への社会的意識の高まり

- 2050年を目途としたGHG（温室効果ガス）削減目標は世界が共有
- GHG削減に向けた動きは新たなビジネスチャンス
- 今後、国内では固定価格買取制度による政策的な新エネルギー・再生可能エネルギー導入促進の方向

当社経営理念と事業拡大の基本戦略

- 事業拡大に向けて、E&P事業を軸としつつ、E&Pの海外シフト、国内天然ガス、環境・新技術への新規投資を通じて収益機会の拡大を図る。

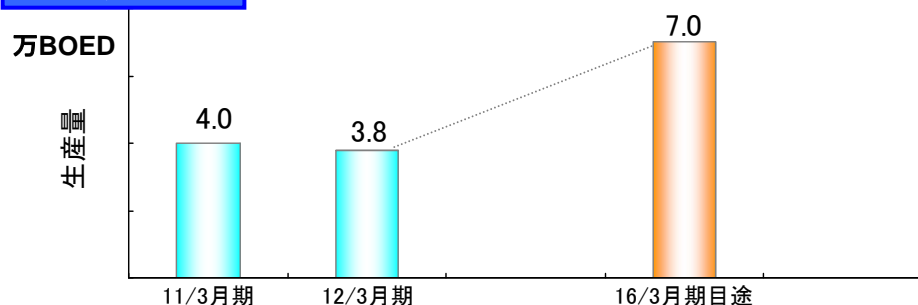
新中期事業計画における当社成長ストーリー



生産量・埋蔵量の推移

- 生産量・埋蔵量の2012年3月期実績はそれぞれ3.8万BOED、2.2億BOE
 - 生産量は天然ガスの原油換算係数変更等※により前期比約5%減少
 - 埋蔵量は生産及び換算係数変更等により前期比約13%減
 - 今後、カナダオイルサンドHangingstone拡張開発やイラク・ガラフの進捗、さらには新規案件取得等を通じて中期目標の達成を目指す

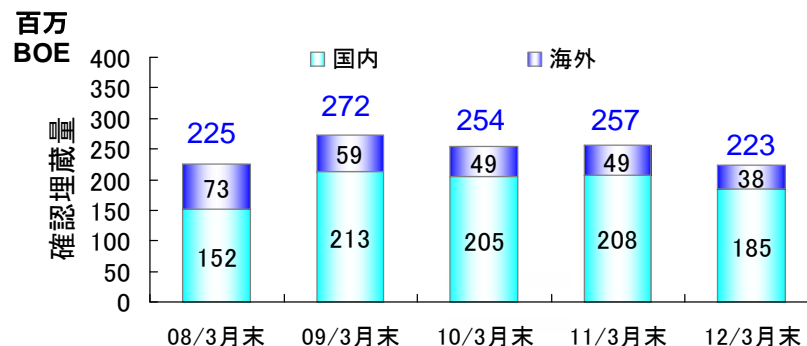
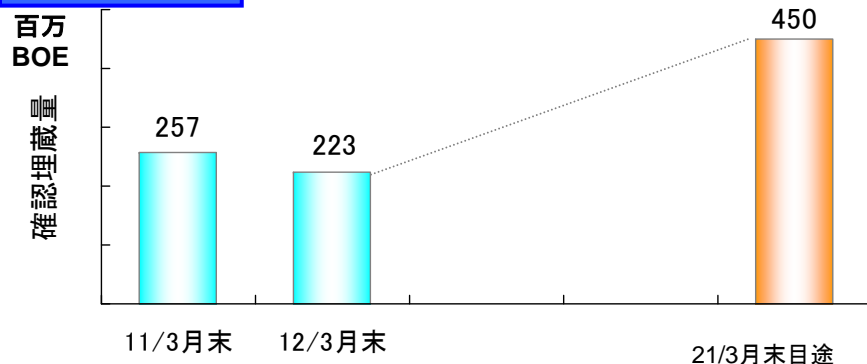
生産量



※ 従来、天然ガス5.6mcf＝原油1bbl(1,000m³＝1kl)として生産量・埋蔵量の原油換算数量を開示しておりましたが、2012年3月期の値より、換算係数をPetroleum Resources Management System (PRMS) が推奨する天然ガス5.8mcf＝原油1bbl(1,033m³＝1kl)に変更いたします。

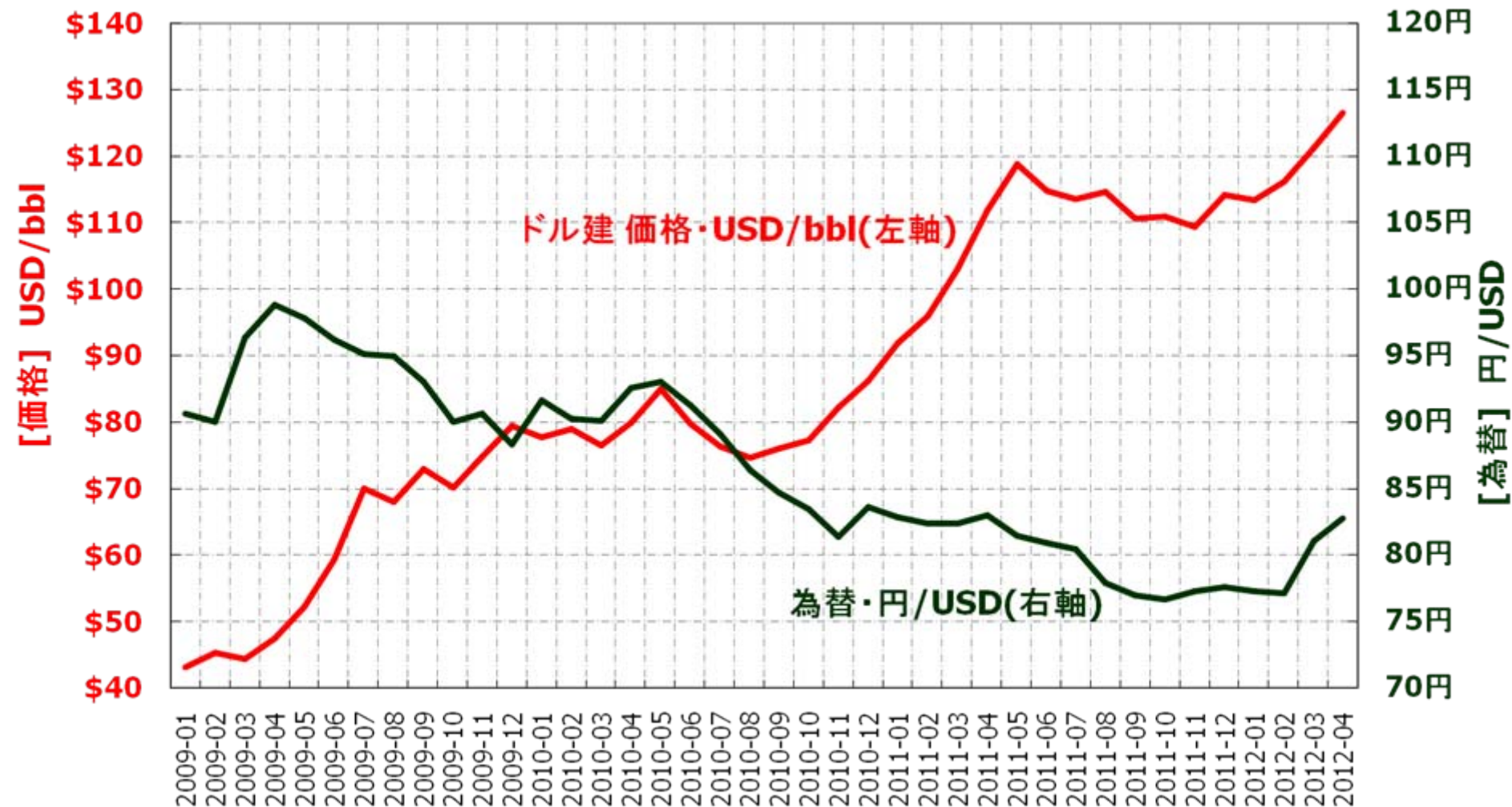
尚、2011年3月期以前の値につきましては、従来の換算係数に基づく値を記載しております。

埋蔵量



注) 上記生産量、埋蔵量は当社グループの経済的取分相当量

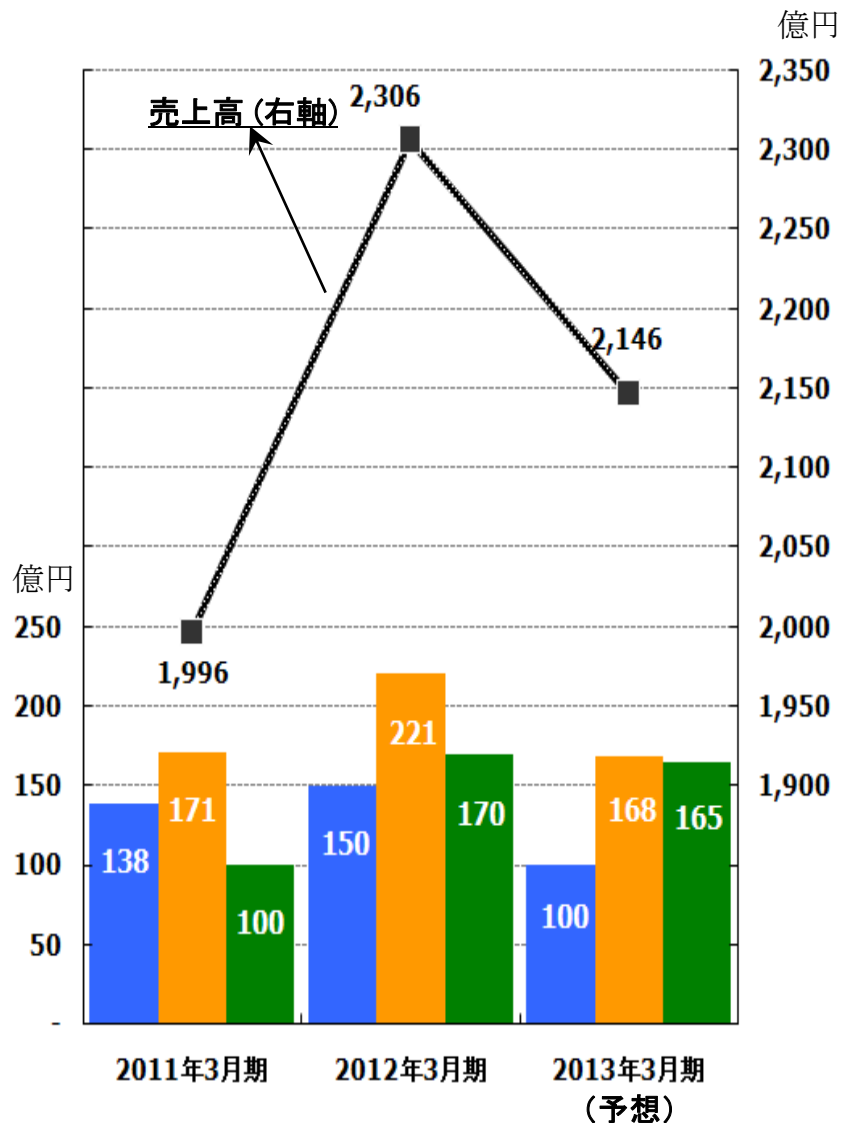
原油価格と為替の動き



2012年4月上中旬(4/1-4/20)分のCIF価格(速報)

USD 126.54/bbl 82.80 円/USD

12/3月期決算、13/3月期予想【ハイライト】



■ 営業利益(左軸) ■ 経常利益(左軸) ■ 当期純利益(左軸)

■ 12/3月期実績 (11/3月期実績比)

[億円]	11/3月期 実績(a)	12/3月期 実績(a)	比較増減	
売上高	1,996	2,306	+309	+16%
営業利益	138	150	+11	+9%
経常利益	171	221	+50	+29%
当期純利益	100	170	+70	+70%
油価 (\$/bbl)	82.69	112.43	+29.74	+36%
為替 (¥/\$)	86.24	78.93	▲7.31	▲8%

■ 13/3月期予想 (12/3月期実績比)

[億円]	12/3月期 実績(a)	13/3月期 予想(e)	比較増減	
売上高	2,306	2,146	▲160	▲7%
営業利益	150	100	▲50	▲33%
経常利益	221	168	▲53	▲24%
当期純利益	170	165	▲5	▲3%
油価 (\$/bbl)	112.43	100.00	▲12.43	▲11%
為替 (¥/\$)	78.93	80.00	+1.07	+1%

13/3月期 国内探鉱計画

◆ 探掘井 掘削スケジュール

	坑井種類	掘削深度	13/3月期												備考	
			1Q			2Q			3Q			4Q				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
沼ノ端(T1)東C2	探掘	2,100 m			■											
あけぼの(T1)A5	探掘	1,700 m												■		
片貝SK-29D (片貝SK-29D-1)	探掘	4,830 m 4,940 m	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
片貝R4	探掘	5,395 m												■	■	継続

あけぼの (T1) A5 (1,700m)
沼ノ端 (T1) 東C2 (2,100m)

男鹿2D (47km)
鳥海山南方2D (21km)

◎探掘井
■地震探鉱

片貝SK-29D (4,830m) メイン坑
片貝SK-29D-1 (4,940m) ブランチ坑
片貝R4 (5,395m)

- ◆ 物理探鉱計画: 2班 ①2D震探: 秋田県(男鹿)47km ②2D震探: 山形県(鳥海山南方)21km

□ 12/3月期 試掘結果

	坑井種類	掘削深度	12/3月期												備考	
			1Q			2Q			3Q			4Q				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
明野SK-1D	試掘	5,265m														成功

13/3月期 設備投資計画

[単位:億円]	09/3 月期	10/3 月期	11/3 月期	12/3 月期	13/3 月期 (予想)
設備投資額	309	288	219	238	334
減価償却費	215	232	245	239	180

■ 13/3月期 主な設備投資項目

■ 国内 設備投資 78億円

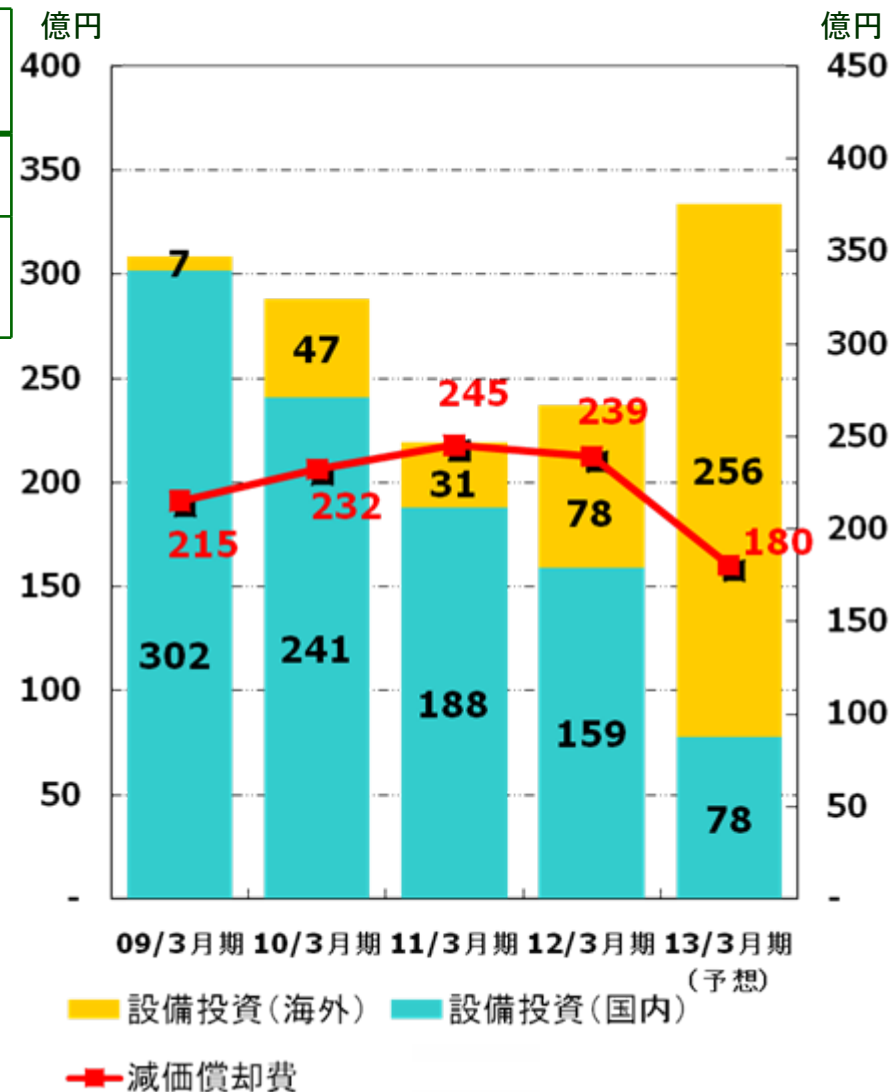
国内生産設備 増強

■ 海外 設備投資 256億円

イラク ガラフ油田 開発

カナダ オイルサンド事業 操業設備改善工事

インドネシア 「アチェ A 鉱区」 ガス田開発



海外事業【重点地域での取組み】



重点地域

● 連結子会社および持分法関連会社等が権益を保有する鉱区

海外事業現況 ① カナダオイルサンド

プロジェクト会社 カナダオイルサンド(株)
(CANOS: 当社86.64% 出資)

オペレーター **Japan Canada Oil Sands Ltd.**
(JACOS: CANOSの100%現地子会社)

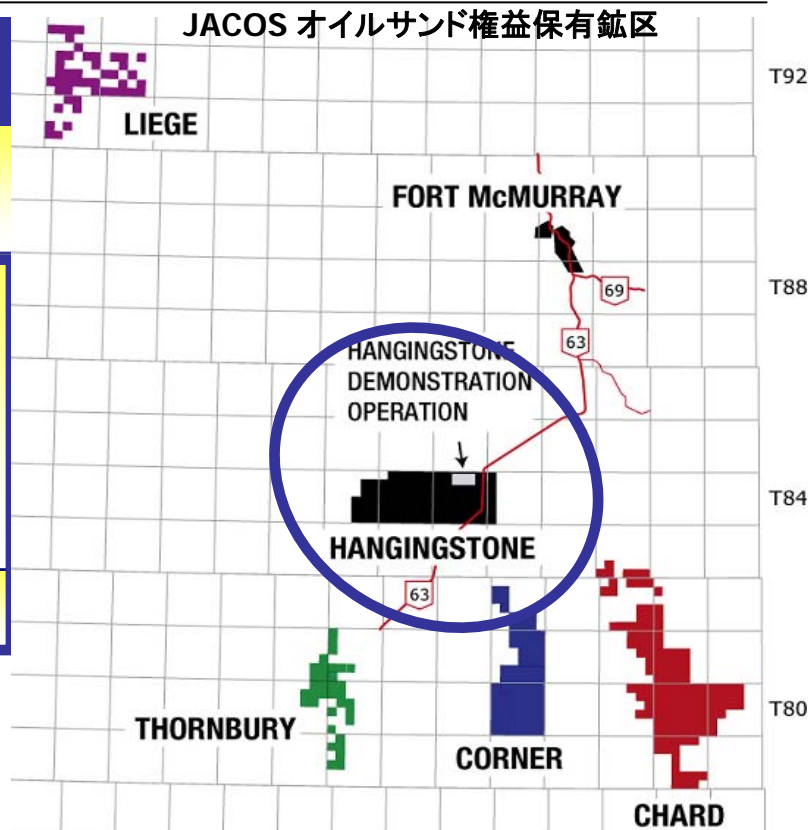
生産中、開発 計画中鉱区	Hangingstone 3.75 セクション 約7,000 bbl/d (2011年12月末累計生 産量: 2,627万bbl) 現在 生産中	Hangingstone 未開発地域 拡張開発計画 最大 30,000 bbl/d 規模の追加生産
	100%	75%

権益比率 **100%**
■ 拡張開発計画 スケジュール

2010 4月 開発許可申請
基本設計着手

2012 開発許可取得後、最終投資意
思決定(第4四半期予定)
2012/2013 冬季 建設工事
着手(予定)

2016 2016上期
生産開始(予定)



■ JACOS が 保有するオイルサンド未開発鉱区
条件付資源量1,717百万bbl (2008年12月末現在)

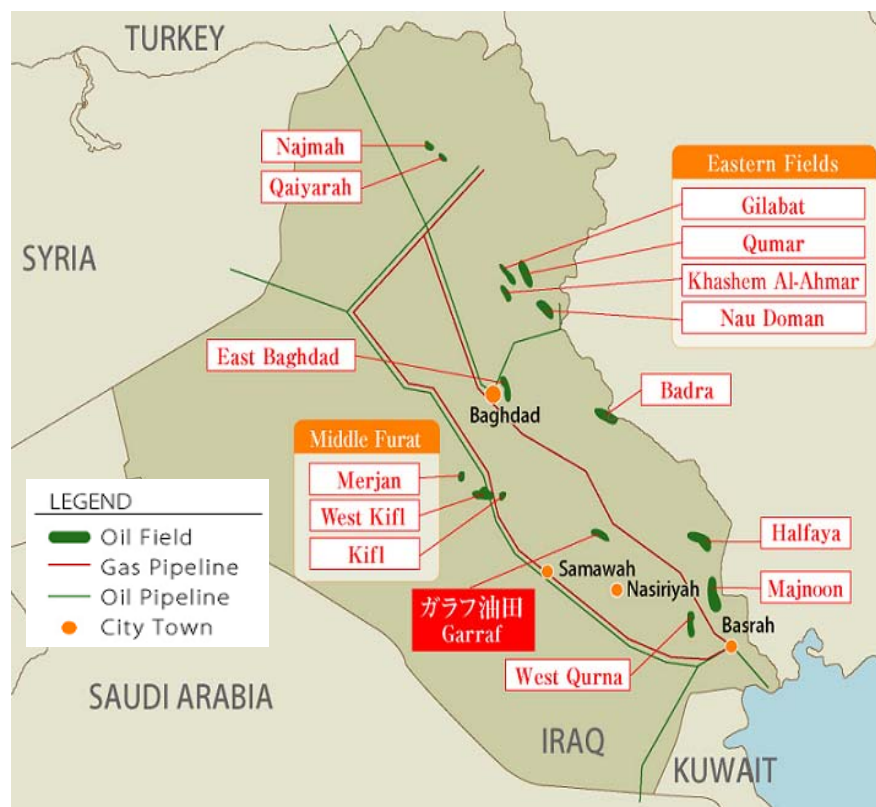
オイルサンド資源量評価対象鉱区

Hangingstone、Chard、Corner、Thornburyの各鉱区について評価を実施。対象鉱区は、単独保有と共同保有からなり、評価対象面積は788.4km²(gross)、373.4km²(net)。なお、Liege鉱区にもビチューメンが賦存しますが、賦存状況から当面開発対象としていません。

海外事業現況 ② イラク

ガラフ油田開発プロジェクト

契約種類	開発生産サービス契約
契約当事者	イラク南部石油公社(SOC)
契約期間	20年間(最大5年延長可)



コントラクター	PETRONAS オペレーター	ジャペックス ガラフ	イラク北部 石油公社
資金負担	60%	40%	-
収益配分	45%	30%	25%

2010 契約発効: 2010年2月10日

2011 2011年6月掘削キャンペーン開始

2012 5万bbl/dにて商業生産開始

段階的に生産量の引上げ

2016

2017

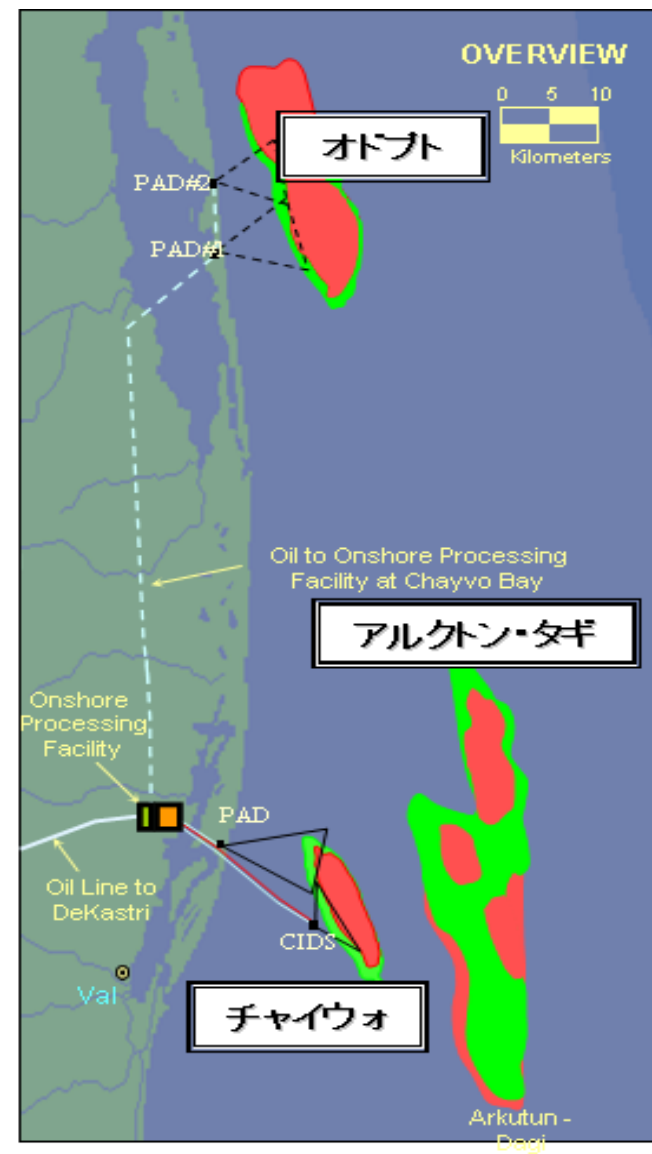
23万bbl/dの
目標安定生産量に到達

■ 契約期間中 累計生産量

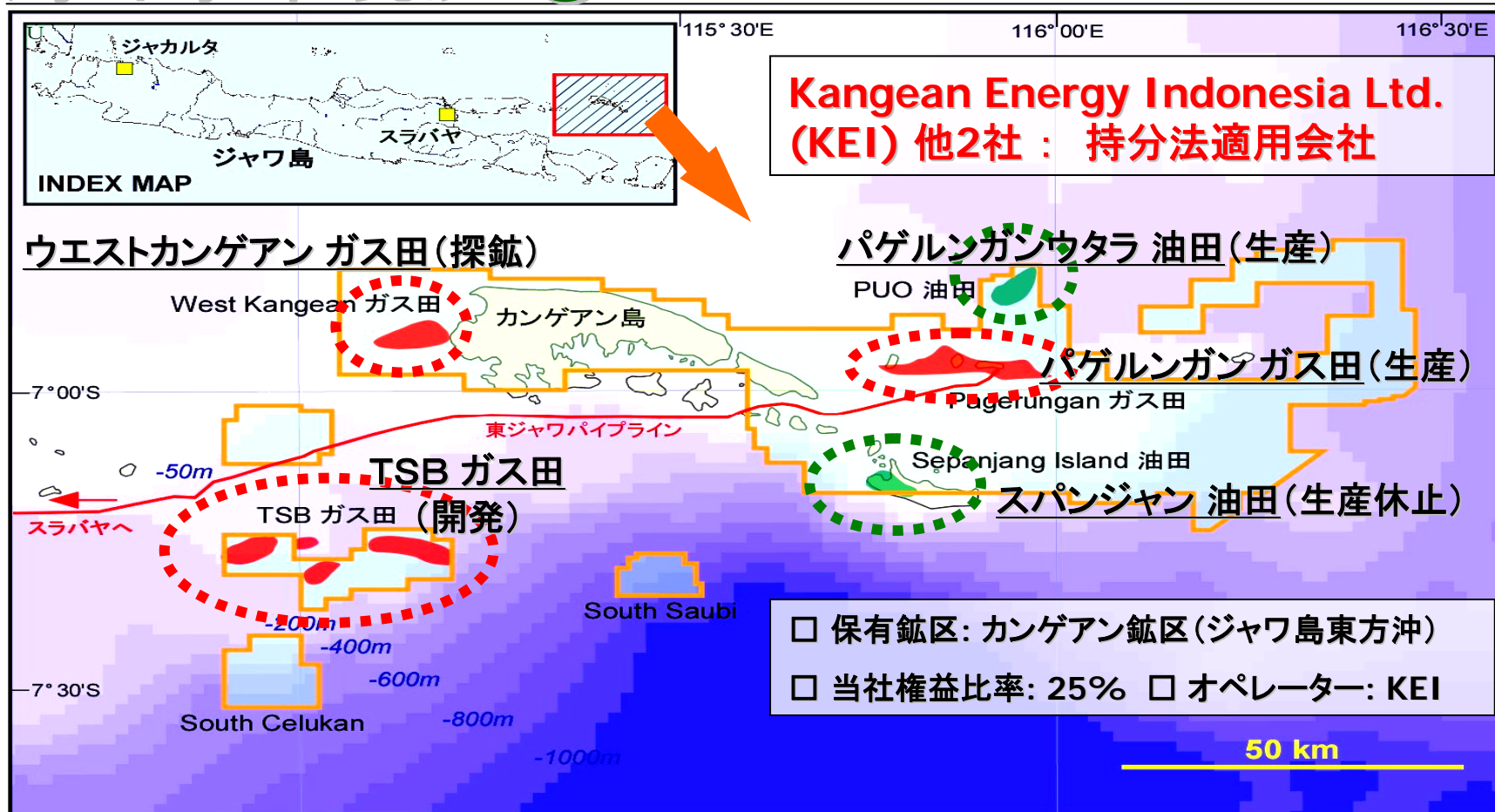
約13億bbl

海外事業現況 ③ サハリン1 プロジェクト

サハリン1 コンソーシアム			権益比率
Exxon Neftegas Ltd.			30%
サハリン石油ガス開発 株式会社 (SODECO)			30%
[経済産業大臣]	[JAPEX]	[伊藤忠商事]	
50.00%	14.46%	14.46%	
[丸紅]	[INPEX]	[伊藤忠石開]	
11.68%	5.74%	3.66%	
ONGC			20%
SMNG-Shelf			11.5%
Rosneft-Astra			8.5%
2005	【チャイウォ 油ガス田】10月原油生産開始		
2006	10月、輸出開始		
2007	2月、目標ピーク生産量 25万bbl/d 到達		
2008	1月、累計生産量1億bbl達成		
2010	9月、【オドプト 油ガス田】原油生産開始		
2014	【アルクトン・ダギ 油ガス田】原油生産開始予定		



海外事業現況 ④ インドネシア カンゲアン鉱区



- 現在の生産規模は、原油換算約5千boe/d
- TSBガス田：2012年5月末、3億cf/d(原油換算約5万boe/d)の生産開始を目指す
- 生産量は約5.5万boe/dに拡大 ■ PS契約：2030年まで

海外事業現況 ⑤ インドネシア アチェ A 鉱区

プロジェクト会社 (株) ジャペックス Block A	
権益比率	16.67%
保有鉱区: アチェ A 鉱区 (スマトラ島北部)	
オペレーター: Medco 社 生産規模 最大 約 1億cf/d (原油換算 約 2万boe/d)	



2010

延長PS契約 **承認**

延長契約の契約期間:

2011

契約締結完了、
生産開始に向け開発に着手

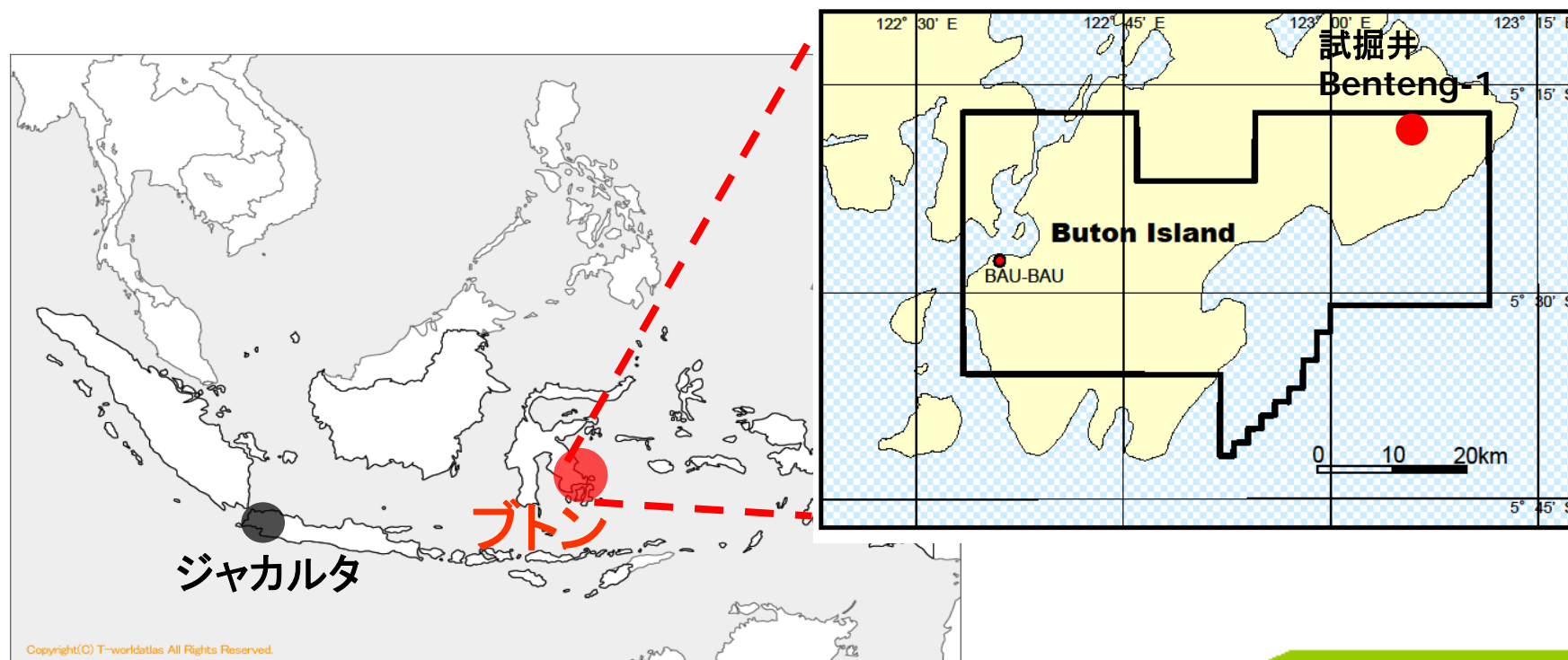
2011年9月1日より**20年間**

2014

アルランボン ガス田
ジュルユ ガス田
アルシワ ガス田

海外事業現況 ⑥ インドネシア ブトン鉱区

プロジェクト会社	(株)ジャペックスブトン	2008	空中重磁力調査 実施 2D 地震探鉱調査 実施
権益比率	40%	2009	試掘対象構造 選定
保有鉱区	ブトン鉱区 (南東スラウェシ州 ブトン島陸・海域)	2012	試掘井(Benteng-1)掘削 作業中(掘削予定深度:3,200m)



Copyright(C) T-worldatlas All Rights Reserved.

2012年3月期 決算概要

代表取締役副社長
佐藤 弘

12/3月期 決算概要【ハイライト】

[百万円]	11/3月期 通期 実績(a)	12/3月期 通期			実績(a)
		当初予想 5.13公表(e)	修正予想① 11.4公表(e)	修正予想② 2.10公表(e)	
売上高	199,651	223,479	229,031	226,227	230,638
営業利益	13,849	11,757	8,365	12,214	15,045
経常利益	17,122	15,634	12,974	17,932	22,159
当期純利益	10,010	11,528	10,175	13,805	17,027

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (USD/bbl)	82.69	90.00	105.66	111.13	112.43
為替/米ドル (Yen/USD)	86.24	85.00	80.52	79.69	78.93
ピチューメン価格 (CAD/bbl)	48.32	47.82	46.25	49.71	49.81
為替/カナダドル (Yen/CAD)	81.47	85.00	80.00	76.22	76.22

◆ 12/3月期 当初予想 (5.13公表) → 修正予想① (11.4公表)
 【+】原油価格の上昇 【-】天然ガス及び原油の生産販売計画を下方修正

◆ 12/3月期 修正予想① (11.4公表) → 修正予想② (2.10公表)
 【+】原油価格の上昇 【+】探鉱費の減少 【+】営業外損益の増益

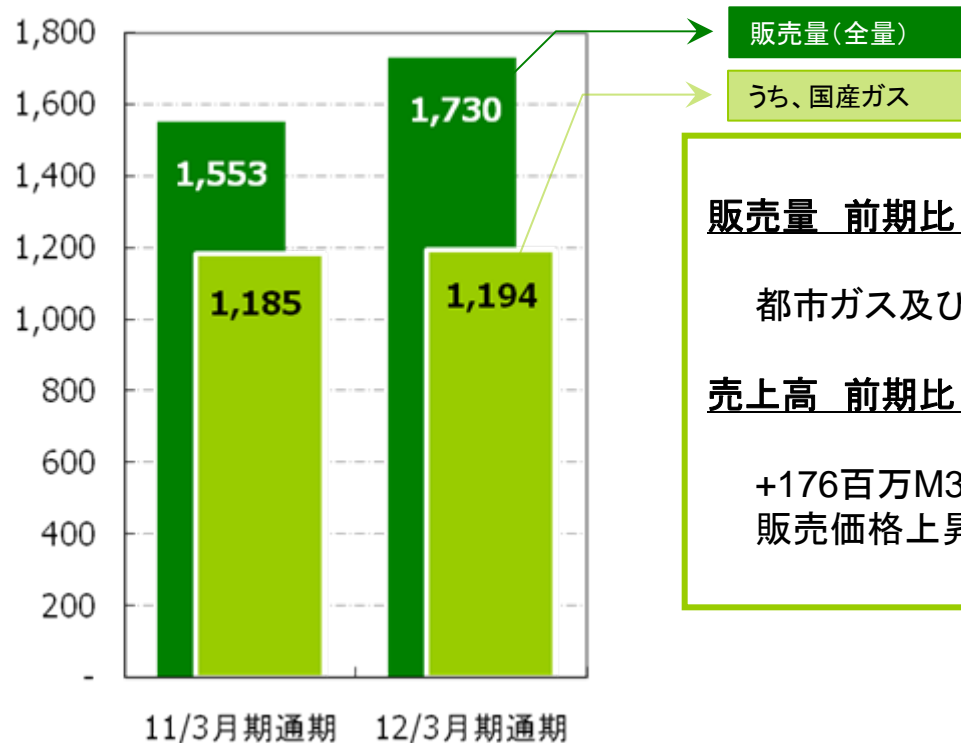
◆ 12/3月期 修正予想② (2.10公表) → 決算
 【+】天然ガス原油価格の上昇及び需要の増加 【+】営業外損益の増益
 経常利益 221 億円 (2.10公表比 +42億円)
 当期純利益 170 億円 (2.10公表比 +32 億円)

12/3月期 天然ガス 販売状況【前期比】

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		11/3月期		12/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
天然ガス:	販売量	696	1,553	742	1,730	+45	+176
	売上高	27,039	61,090	31,170	74,957	+4,130	+13,867
うち、国産ガス:	販売量	529	1,185	522	1,194	▲7	+9

本資料における「国産ガス」の販売量は、買入ガスを除く数値を記載しています。

百万M3



販売量 前期比 +176百万M3(+11%) 増加

都市ガス及び産業用需要の増加

売上高 前期比 +138億円(+22%) 増加

+176百万M3(+11%) 需要増加要因による増収
販売価格上昇要因による増収

12/3月期 原油 販売状況【前期比】

		11/3月期		12/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
原油:	販売量(千KL)	946	1,899	896	1,778	▲50	▲120
	売上高(百万円)	38,242	77,629	46,649	89,891	+8,406	+12,262

[権益原油の内訳]

国産原油	販売量(千KL)	246	547	239	529	▲6	▲18
	売上高(百万円)	11,083	25,777	13,925	30,351	+2,841	+4,573
海外原油	販売量(千KL)	3	5	1	2	▲1	▲2
	売上高(百万円)	117	187	84	128	▲33	▲59
ビチューメン	販売量(千KL)	197	409	175	382	▲21	▲26
	売上高(百万円)	5,512	10,141	4,207	9,137	▲1,304	▲1,003

[油価と為替の前提]

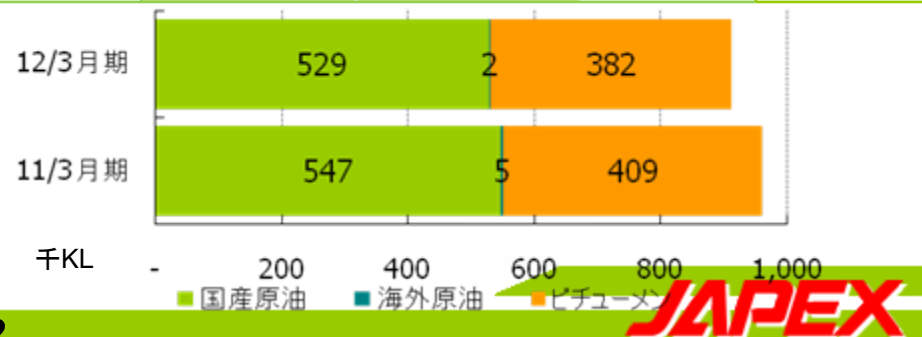
原油CIF価格	(USD/bbl)	78.95	82.69	112.38	112.43	+33.43	+29.74
為替/米ドル	(Yen/USD)	90.71	86.24	81.07	78.93	▲9.64	▲7.31
ビチューメン価格	(CAD/bbl)	52.98	48.32	45.70	49.81	▲7.28	+1.49
為替/カナダドル	(Yen/CAD)	83.76	81.47	83.38	76.22	▲0.38	▲5.25

国産原油 : 【+】原油価格上昇

ビチューメン : 【-】生産数量の減少及び円高

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティ控除後の数値です。

また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.の数値を記載しています。



12/3月期 決算概要【前期比】

単位：百万円	11/3月期 通期実績 (a)	12/3月期 通期実績 (a)	比較増減
売上高	199,651	230,638	+30,986
売上総利益	54,732	56,278	+1,545
探鉱費	9,798	7,805	▲1,992
販売管費	31,084	33,426	+2,342
営業利益	13,849	15,045	+1,195
営業外損益	3,272	7,114	+3,842
経常利益	17,122	22,159	+5,037
特別損益	▲4,166	311	+4,477
法人税等	2,161	4,746	+2,585
少数株主利益	783	696	▲86
当期純利益	10,010	17,027	+7,016

損益変動要因（MEMO）
「増益要因を＋」、「減益要因を▲」
で記載

売上総利益
国内原油天然ガス +58億円
LNG代替費用 ▲23億円
受託輸送収入 ▲20億円

探鉱費
国内探鉱 +18億円

営業外損益
受取配当金 +24億円
有価証券売却益 +7億円

特別損益
(前期特別損失の影響額)
資産除去債務会計基準適用 +23億円
東日本大震災 災害損失 +15億円
(今期特別利益の影響額)
東日本大震災 受取保険 +6億円

2013年3月期 業績予想

代表取締役副社長
佐藤 弘

13/3月期 業績予想【ポイント】

[百万円]	12/3月期		13/3月期		比較増減	
	4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期 (a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期 (e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
売上高	104,596	230,638	95,823	214,653	▲8,773	▲15,985
営業利益	6,219	15,045	4,858	10,003	▲1,361	▲5,042
経常利益	7,887	22,159	5,503	16,819	▲2,385	▲5,341
当期純利益	6,333	17,027	6,441	16,526	+107	▲501

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (USD/bbl)	112.38	112.43	100.00	100.00	▲12.38	▲12.43
為替/米ドル (Yen/USD)	81.07	78.93	80.00	80.00	▲1.07	+1.07
ビチューメン価格 (CAD/bbl)	45.70	49.81	54.12	52.91	+8.42	+3.10
為替/カナダドル (Yen/CAD)	83.38	76.22	80.00	80.00	▲3.38	+3.78

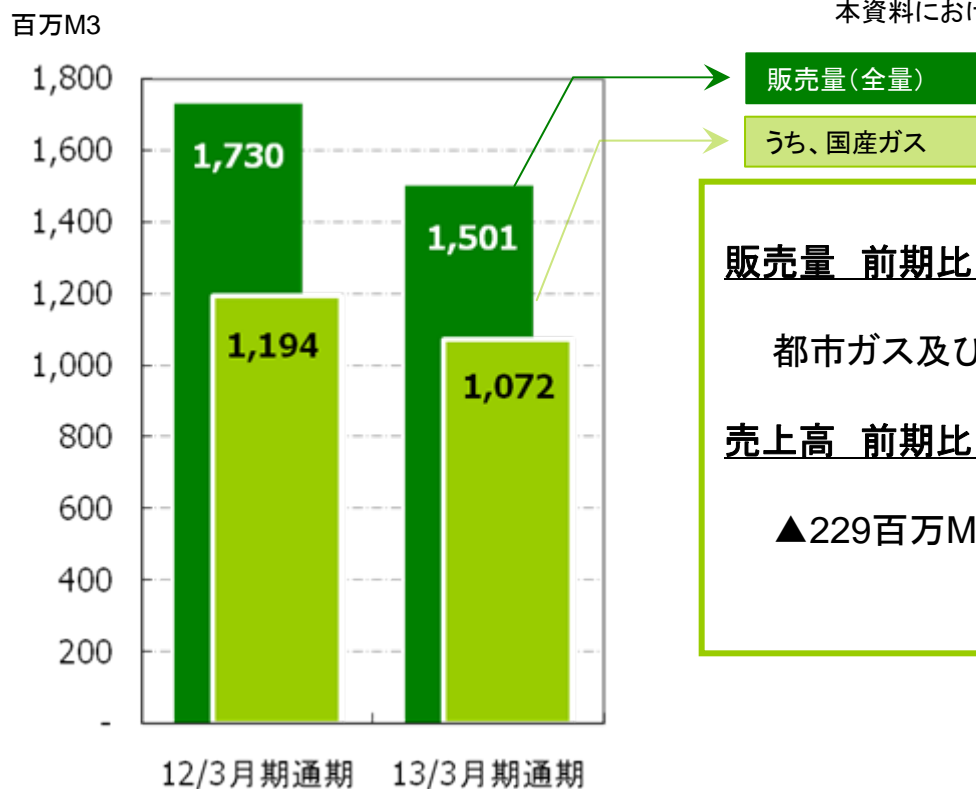
【13/3月期 前期比 ポイント】

■ 営業利益	▲50 億円 減益	探鉱費	▲60 億円
■ 経常利益	▲53 億円 減益	営業外損益	▲3 億円 受取配当金
■ 当期純利益	▲5 億円 減益	特別損益	+20 億円
		法人税他	+27 億円

13/3月期 天然ガス 販売予想

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		12/3月期		13/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期(e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
天然ガス:	販売量	742	1,730	698	1,501	▲45	▲229
	売上高	31,170	74,957	31,385	67,225	+215	▲7,733
うち、国産ガス:	販売量	522	1,194	519	1,072	▲4	▲123

本資料における「国産ガス」の販売量は、買入ガスを除く数値を記載しています。



販売量 前期比 ▲229百万M3(▲13%) 減少

都市ガス及び産業用需要の減少

売上高 前期比 ▲77億円(▲10%) 減少

▲229百万M3(▲13%) 販売量減少による減収

13/3月期 原油 販売予想

		12/3月期		13/3月期		比較増減	
		4-9月 2Q累計 (a)	4-3月 通期(a)	4-9月 2Q累計 (e)	4-3月 通期(e)	4-9月 2Q累計	4-3月 通期
原油:	販売量(千KL)	896	1,778	804	1,764	▲92	▲15
	売上高(百万円)	46,649	89,891	37,577	81,604	▲9,072	▲8,288

[権益原油の内訳]

国産原油	販売量(千KL)	239	529	251	489	+11	▲40
	売上高(百万円)	13,925	30,351	12,920	25,146	▲1,006	▲5,205
海外原油	販売量(千KL)	1	2	1	2	▲1	▲1
	売上高(百万円)	84	128	48	91	▲36	▲37
ビチューメン:	販売量(千KL)	175	382	173	380	▲3	▲3
	売上高(百万円)	4,207	9,137	4,705	10,103	+498	+966

[油価と為替の前提]

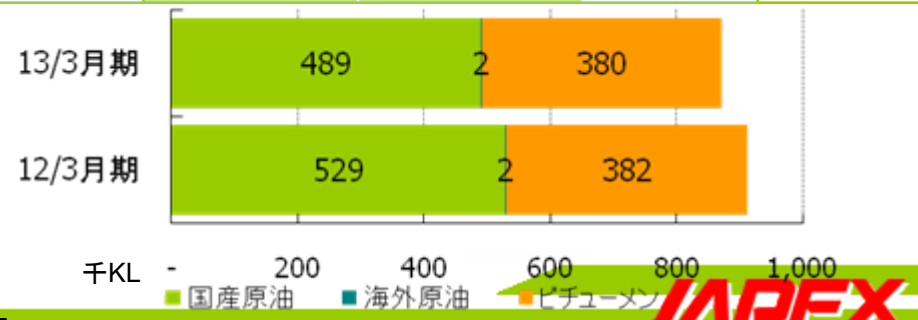
原油CIF価格	(USD/bbl)	112.38	112.43	100.00	100.00	▲12.38	▲12.43
為替/米ドル	(Yen/USD)	81.07	78.93	80.00	80.00	▲1.07	+1.07
ビチューメン価格	(CAD/bbl)	45.70	49.81	54.12	52.91	+8.42	+3.10
為替/カナダドル	(Yen/CAD)	83.38	76.22	80.00	80.00	▲3.38	+3.78

国産原油 : 【-】生産量低下及び原油価格低下

ビチューメン : 【+】価格上昇及び円安

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティ控除後の数値です。

また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.の数値を記載しています。



13/3月期 通期 業績予想

単位：百万円	12/3月期 通期実績 (a)	13/3月期 通期予想 (e)	比較増減
売上高	230,638	214,653	▲15,985
売上総利益	56,278	54,865	▲1,413
探鉱費	7,805	13,896	+6,090
販売管費	33,426	30,966	▲2,461
営業利益	15,045	10,003	▲5,042
営業外損益	7,114	6,816	▲299
経常利益	22,159	16,819	▲5,341
特別損益	311	2,378	+2,067
法人税等	4,746	1,969	▲2,778
少数株主利益	696	702	+5
当期純利益	17,027	16,526	▲501

損益変動要因 (MEMO)
「増益要因を +」、「減益要因を ▲」
で記載

売上総利益
国内原油天然ガス ▲40億円
受託輸送収入 +21億円

探鉱費
国内探鉱 ▲42億円
海外探鉱 ▲18億円

営業外損益
受取配当金 ▲5億円

油価・為替の前提及び収益への影響

油価と為替 の前提	原油CIF価格 USD 100 /bbl	為替 80 円/USD	ビチューメン CAD 52.91 /bbl (80 円/CAD)				
収益 影響額	USD 1 /bbl の 油価上昇による 利益増加額は…	5 円/USD の 円安による 利益増加額は…	CAD 1 /bbl の ビチューメン価格上昇による 利益増加額は…				
営業利益	200 百万円	890 百万円	(238 万CAD) 190 百万円				
当期純利益	130 百万円	620 百万円	(209 万CAD) 170 百万円				
[為替と油価の前提]	12/3月期			13/3月期			比較増減
	1H 1Q-2Q(a)	2H 3Q-4Q(a)	通期(a)	1H 1Q-2Q (e)	2H 3Q-4Q (e)	通期(e)	
原油CIF価格 (USD/bbl)	112.38	112.48	112.43	100.00	100.00	100.00	▲12.43
為替/米ドル (Yen/USD)	81.07	77.17	78.93	80.00	80.00	80.00	+1.07
ビチューメン価格 (CAD/bbl)	45.70	43.98	49.81	54.12	51.89	52.91	+3.01
為替/カナダドル (Yen/CAD)	83.38	81.47	76.22	80.00	80.00	80.00	+3.78

注1: 「ビチューメン」の価格はロイヤリティー控除後の価格を表記しております。

注2: 為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生します。
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によっても影響されます。